

秋田大学大学院理工学研究科学位授与方針・学位論文評価基準

理工学研究科では、以下の方針に従って学生の修了認定および学位授与を行います。

〈博士前期課程〉

理工学研究科博士前期課程では、研究倫理教育（標準プログラム）を修了し、次のような知識、技術、態度などを身につけた学生に、「修士（理学）」、「修士（理工学）」、および「修士（工学）」の学位を授与します。

1. 生命科学・数理科学分野の高度な専門知識と研究手法を修得し、それらを駆使して問題解決を遂行できると認定された場合に、修士（理学）の学位が授与されます。
2. 理学・工学を基盤とした高度な専門知識と研究手法を学び、理工学分野を横断した俯瞰力・総合力を身につけ、物質に関する高度な要求や問題を解決できると認定された場合に、修士（理工学）の学位が授与されます。
3. 複雑で多岐にわたる工学関連分野の高度な専門知識と研究手法を学び、社会・企業が求めるイノベーション創出のための柔軟な創造力を身につけ、工学における様々な問題を解決できると認定された場合に、修士（工学）の学位が授与されます。

以下は3種類（理学，理工学，工学）の修士号を授与する学生に共通して身につけてもらう能力です。

4. 合理的思考力・認知力（批判的思考力，分析的推論力，資料活用力，文章力，コミュニケーション力）をさらに強化した理工系基礎力
5. 高度な専門知識や技術の修得・活用・展開力，課題発見・解決能力，新価値創出能力
6. チームワークや異分野連携のための協働力
7. 専門外の問題に直面した際の柔軟な対応能力
8. グローバル化に対応できる英語表現力
9. 高い起業家精神をもつ地域創生力，技術革新力
10. 倫理規範を守り，業務・研究を遂行できる能力

〈博士後期課程〉

理工学研究科博士後期課程では、博士前期課程で要求される能力のほか、次のような能力などを身につけた学生に、「博士（理学）」、「博士（理工学）」、および「博士（工学）」の学位を授与しています。

1. 斬新性・独創性に優れた課題設定，およびその解決方法を提案できる能力
2. 各専門分野を横断した総合的な視野を持って学際的・新領域の課題に取り組める能力
3. 国際的なプレゼンテーション能力
4. 最新の知識・技術を幅広く理解し，国際競争力のある技術が如何なるものかを把握できる能力
5. 優れたリーダーシップ，協働力，豊かな創造力に裏づけされた指導力

学位論文は、以下に示す評価基準に基づき、審査を行います。

〈博士前期課程〉

評価項目

1. 学位論文のテーマは、本研究科が授与する学位に対して適切に設定されているか。
2. 先行研究や関連研究に関する文献などが広く調べられ、理解されているとともに、当該専門分野における学位論文の位置づけが適切に表現されているか。
3. 当該専門分野における十分な知識を修得し、研究の意図や問題を的確に把握し、解決方法を提示する能力が反映されているか。
4. 論文の記述（本文，図，表，参考文献など）が適切であり、論理構成に無理や無駄がなく、結論が導き出されているか。
5. 引用の方法が適正であるか。また、研究倫理上の問題に細心の注意が払われているか。
6. 当該専門分野の理論的見地または実証的見地から、新たな観点，知見，独自の価値を有するものとなっているか。

評価基準

上記評価項目すべてが満たされていると認められたものを合格とする。

〈博士後期課程〉

評価項目

1. 学位論文のテーマは、本研究科が授与する学位に対して適切に設定されているか。
2. 先行研究や関連研究に関する文献などが広く調べられ、理解されているとともに、当該専門分野における学位論文の位置づけが適切に表現されているか。
3. 当該専門分野における博士としての十分な知識を修得し、研究の意図や問題を的確に把握し、解決方法を提示する能力が反映されているか。
4. 設定したテーマの研究に対して、適切な研究方法、調査・実験方法、あるいは論証方法を採用し、それに従って具体的な分析・考察がなされているか。
5. 論文の記述（本文、図、表、参考文献など）が適切であり、論理構成に無理や無駄がなく、結論が導き出されているか。
6. 引用の方法が適正であるか。また、研究倫理上の問題に細心の注意が払われているか。
7. 当該専門分野の理論的見地または実証的見地から、学位論文は国内外の研究水準に照らし合わせ、新たな学術的意義、新規性、創造性、応用的価値を有したオリジナリティのある論文となっているか。
8. 博士論文の主要部分は、学位を受ける者を筆頭著者とする査読付きの論文から構成され、かつ当該論文は学術誌に掲載、または掲載が決定されているか。

評価基準

上記評価項目すべてが満たされていると認められたものを合格とする。